

## ④杉並区役所

1889年、当時の地域にあった6つの村「天沼村・阿佐谷村・高円寺村・馬橋村・成宗村・田端村」が合併し、当時の有名だった青梅街道沿いに植えられていた杉並木が由来となり、「杉並村」が誕生しました。当時の村役場は世尊院の本堂に置かれていました。

この時の杉並一帯はのどかな農村地帯でしたが、その様相が高円寺駅・阿佐ヶ谷駅の開通と、1923年の関東大震災によって大きく変わっていきました。

震災の被害が少なかったことに加え、2駅の開通で都心部へのアクセスも良くなつたことにより杉並の人口は激増しました。杉並村では発展に支障があるということで、1924年7月に「杉並町」が誕生しました。

その後も人口増加は止まらず、1925年には、わずか1年で1万人近く増加するほどでした。1922年には今の阿佐谷児童遊園付近に村役場が完成しましたが、急激な人口増加ですぐ庁舎が手狭となってしまったため、1926年には現在区役所がある場所に木造2階建ての町役場が建てられました。

その後、1932年に近隣の「和田堀町・高井戸町・井荻町・杉並町」を併合するに当たり、区の中心をどこに置くかが問題となりましたが、結果的に人口が最も多く、交通の便にも恵まれていた杉並町を区の中心とし、旧杉並町役場を杉並区役所の庁舎とすることになりました。

そんな杉並区役所は、街の中心としてたくさんの人々が利用しており、私たちにとって誇らしい場所です。

### 参考

杉並区役所HP（杉並区役所本庁舎改築等課題検討報告書）



区民の皆さんを利用する杉並区役所。  
昔は、世尊院のお寺の本堂に置かれ  
ていました。

